

社会・関係資本 これからの医療

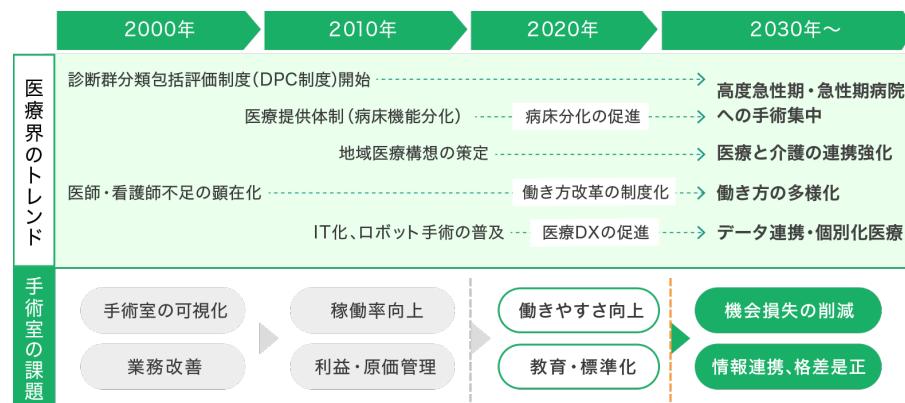
◎ 社会・関係資本
これからの医療

日進月歩で進化する医療技術に伴い、必要とされる製品やサービスも日々変化しています。300名を超える営業担当者とマーケティング部門が医療の最前線で最新情報を収集し、現場の変化やニーズを迅速にキャッチ。求められるソリューションのその先を見据えています。

医療環境とお客様が抱える課題の変化に対応

変化する医療ニーズへ、常に最適なソリューションを

日本では逼迫する皆保険制度を維持しながら、すべての人が適切な医療を受けられるよう医療提供体制の見直しが進められています。その結果、近い将来には手術を必要とする高度医療が一部の医療施設に集中することが予想されます。ホギメディカルは、そのような手術室を支え、一人でも多くの患者さんの早期治療を支援するため、時代に即した新たなソリューションを提案し続けていきます。

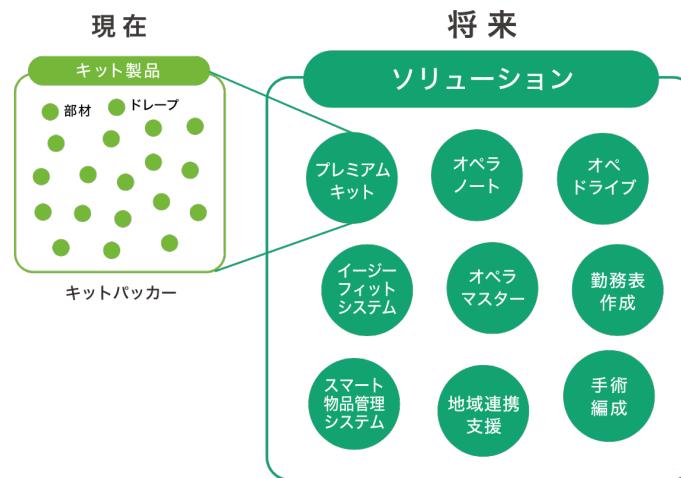


2030年以降は厚生労働省保健医療2035よりホギメディカルで考察

<https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/shakaihoshou/hokeniryou2035/future/>

手術室の「キットパッカー」から「ソリューションプロバイダー」へ
ソリューションプロバイダーとして手術室の支援を拡大

手術室でのさまざまな課題に対応するため、自社で製造・販売するキット製品にとどまらず、パートナー企業から提供されるモノや技術、情報、改善手法など、多様なソリューションをお客さまに合わせて柔軟に組み合わせ、提案する“手術室のソリューションプロバイダー”を目指します。



ソリューションは
課題に応じて増え、
改良し続ける

ソリューションプロバイダー

社会・関係資本 これからの医療

将来は手術室から医療プロセス全域のサポートへ

診断から退院まで、医療プロセスと経営をサポート

現在、私たちの製品は手術室で最も多く使用されています。そこで得られる情報を手術前後の医療プロセスと連携することにより、医療経営に大きく貢献できると考えています。外来から、検査・入院・手術・退院にわたるすべてに支援の可能性を模索し、現中期経営計画でありたい姿を定めた2035年以降も製品・サービスを拡大することで、社会と医療に貢献していきます。

手術室から医療プロセス全域に向けて
医療の質と経営改善を支援する体制の構築を目指す



手術室のソリューションプロバイダーとして
これからも社会に安全と安心を届けます

執行役員コマーシャル本部
マーケティング機能 統括部長
吉留 廣幸

手術で使用される「モノ」を集約したキットパッカーから、教育、データ分析、業務コンサルティングなど医療現場のさまざまな課題をDXツールとの融合で支援する「ソリューションプロバイダー」への進化を目指しています。多くのパートナー企業との提携にも力を入れ、新たなサプライチェーンの構築と幅広いソリューションツールの提案によって、より効率的で質の高い医療を実現し、医療の未来を創成していきます。